

令和3年3月31日

保護者様各位

## 屋上遊びについての対策

駒沢こだま保育園  
園長 福島 宜之  
職員一同

この度はお子様をはじめ、保護者の皆様方に多大なるご不安、ご心配をお掛けしまして、大変申し訳御座いませんでした。

3年前にも1度、屋上遊び後にお子様を取り残してしまった事があったのにも関わらず、私達の対策と確認が不十分でありました。

今後、このような事を起こさないためにも、全職員で連日検討した新たな対策を計画し、そして、この対策がその場限りとならずに継続して行えるように他の取り組みも検討いたしましたので、保護者の皆様方にご周知させていただきます。

また、この対策を子ども達と一緒に運用していく中で、何か不都合な事が起き、対策を変更する場合には保護者の皆様方に改めて周知をさせていただきますので、何卒ご理解ご協力の程をお願い申し上げます。

### 事故の詳細

○3月16日（火）16時19分頃、屋上にて自由遊びが終わり、該当児（以降、本児とする）以外の園児は保育室に戻ったが、本児が屋上にいる事に気付かず、屋上出入口扉の鍵を閉め、本児を取り残してしまう。

○17:05 頃、本児は非常階段の柵を自力で乗り越え、非常階段から外へ助けを求め、降園していた園児と保護者の方が気付き、本児が屋上にいる事が発覚し直ぐに職員が保護する。

### 事故原因

①屋上から室内に戻った際の人数確認と、屋上の見回りの徹底がされていなかった。

②屋上に取り残された際に、本児が子ども用インターフォンを押して外部と連絡を取ろうとしたが、屋上インターフォンの電源タップが抜けており通電していなかった。

③屋上セキュリティカメラの位置が、長年の風雨により定位置より少しずれてしまっていたため、本児の姿を確認ができなかった。

### 今後の対策

今回の事故を受け、子どもの人数確認の徹底と屋上の見回りができていなかった事、前回の対策を継続して行っていなかった事が原因としてあります。

前回の対策では、子ども自身がどの場所で遊ぶのか、意識付けができるように、顔写真がついたマグネットをホワイトボードに貼り、それをういて子どもの人数チェックをしていましたが、マグネットが落ちてしまう事が起きたため、次第に職員間でのチェックを継続する事が困難になっていました。

そのため、子ども達自身が誰と遊ぶのか、どこで遊ぶのか考えて決める、その主体性を引き続き保障するためにも、マグネットタイプではなく、紐がついた木札をフックに掛け

付け易くします。（※写真1参照）しかし、その木札はあくまでも子どもが管理する物とし、それに頼るのではなく、職員が子どもを把握する物としてはタブレット端末（以降、パッドとする）を使用し、人数把握を職員間同士、複数で且つ手元で随時共有ができるようにします。（※写真2参照）



（※写真1：子どもの用の木札）



（※写真2：職員管理の人数確認用パッド）

次に、屋上で遊ぶ際は、屋上のインターフォンを使用し、通電しているかチェックを含め、人数報告を園長、または主任に連絡します。遊び終わったら、再度子どもの人数を数え一度屋上を見回り、子どもが残っていないか確認をし、インターフォンで事務所に連絡をしてから室内に戻ります。戻る際には屋上入り口扉は開けたままにし、万が一、取り残された場合でも子どもがドアを開けられるようにします。そして、室内に戻ったらパッドで人数確認を行います。そして、屋外担当保育者以外の職員が屋上を見て回り、子どもが残っていないかダブルチェックをし、園長、主任にインターフォンで報告をします。（不在時は副主任）

#### 環境の整備

①子ども用インターフォンに於いては、常時子どもが事務所と連絡が取れるようになっておりましたが、今回の事故を受け、コンセントが外れる事がない様に電源タップから 100 ボルト電源より直接配線工事（3月26日完了）を行いました。

②屋上入り口扉の鍵は、7時出勤職員が鍵を開け、20時30分退勤職員が閉める事とし、子ども達がいる間は常時開けておく事で、万が一、取り残されてしまった子どもが扉を開けて入れるようにします。

③屋上フェンスには乗り越え防止対策としてネットを設置します。但し台風、災害時にはネットが飛ばされる危険性があるため、外させて頂く場合も御座います。



④屋上カメラが定位置よりも少しずつずれ落ちてしまうため、定位置に印を置き、定位置で映っているか画面チェックを行います。

⑤今回の事故を受け、子どもが非常階段の柵を乗り越える事がないように、非常階段の鍵を外し階段から降りられるようにします。そのため、毎月の避難訓練ではこの非常階段の柵の扉の開け方、そして、非常階段の意味・用途を子ども達と確認いたします。しかし、この運用で難しいと判断した場合や区からの指摘対象となった場合は、改めて対策を再検討し、保護者様に周知をさせていただきます。

#### 継続して取り組むために

※継続して上記の取り組みを行うために、以下の事を実施します。

①年度初めの職員会議で、新人職員を含めルール研修会を開催し全職員で確認します。

②3ヶ月に1度、職員会議に於いて全職員で屋上遊びをはじめ、日常生活に於ける危険性を考える事で意識を高めていきます。

③月に1度実施している避難訓練で屋上遊びのルールや非常階段の使用について子ども達と考えます。

この度はお子様をはじめ、保護者の皆様方に多大なるご不安、ご心配をお掛けしまして、大変申し訳御座いませんでした。

このような事が起きないように、職員一同で上記の対策に取り組み、子ども達が安心して過ごせる環境を提供すると共に、子ども自身が身の回りの危険を考え乗り越える力へと繋げていきたいと考えております。

また、本対策は全職員一人ひとりがその重要性を十分認識して取り組むものです。

以上を踏まえ、新人職員を含めルール研修会を開いた後、屋上遊びを 4月5日(月) より再開させていただきます。

今後とも保育運営のご理解ご協力の程をお願い申し上げます。